

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

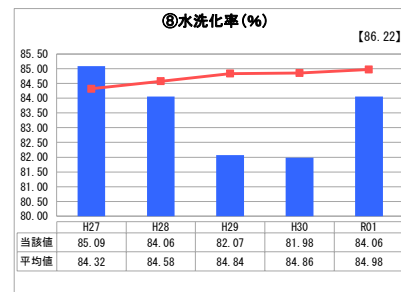
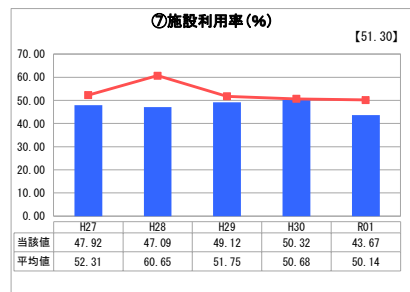
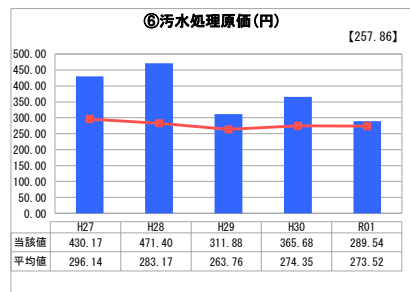
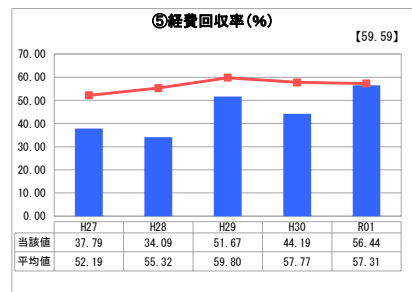
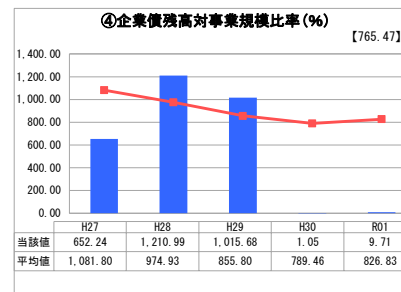
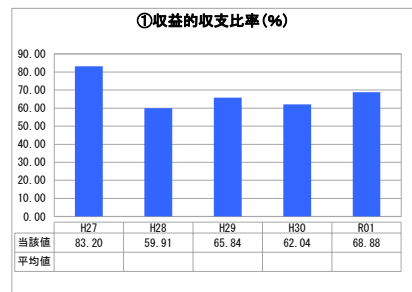
群馬県 東吾妻町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	14.17	101.50	2,970

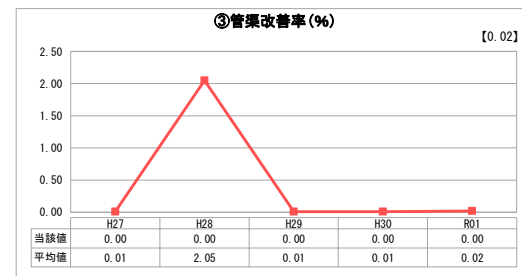
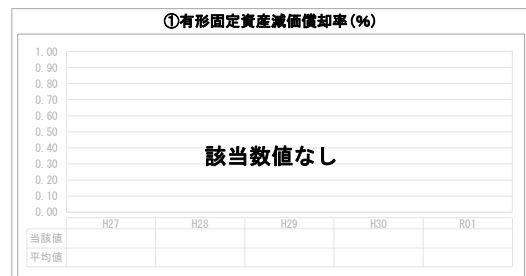
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,556	253.91	53.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,913	2.02	947.03

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率  
H30年度と比較して総収益は増加し、総費用が減少したため比率は増加した。ただ、依然収支は6割程度で単年度収支は赤字となっている。
- ④企業債残高対事業規模比率  
企業債残高は減少傾向にあるが、一般会計繰入金に依存している状況が続いている。
- ⑤経費回収率  
H30年度と比較して料金収入が増加、汚水処理費が減少したため比率は増加した。ただ、一般会計に依存しており、使用料だけでは維持管理は出来ない。
- ⑥汚水処理原価  
年間有収水量は減少傾向にあるが、維持管理費も減少したため処理原価が減少した。年間の新規加入数に対して利用者数の減少が大きいため、今後有収水量の増加は困難であると予想される。
- ⑦施設利用率  
人口減少に伴い、利用者数が減少しており有収水量も減少傾向にある。今後も更なる上昇は困難であると予想される。
- ⑧水洗化率  
ほぼ横ばいで推移しているが、現在水洗便所設置済人口、現在処理区域人口は年々減少傾向にあるため、今後水洗化率は下降していくと予想される。

### 2. 老朽化の状況について

管路については毎年管路清掃とTV調査を行い、施設の状況把握に努めている。現在極めて大きな管路の更新・改良等を要する箇所は無いが、今後は最適整備構想に基づき老朽化対策が必要となる。

### 全体総括

農業集落排水事業の処理場施設においては、現在包括的民間委託を行い効率的な運営や維持管理費の経費削減に努めているが、類似団体と比較すると、経営の健全性・効率性は全体的に低い値を示している。機械設備に関しては導入から15年以上経過しており、設備更新等が課題となってくる。今後人口の減少により、料金収入は減少していくことが予想されるため、適正な料金の見直しを検討する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。